

第4回 匠瑳市地域公共交通活性化協議会及びパブリックコメントでの意見とその対応について

番号	第4回匠瑳市地域公共交通活性化協議会での意見 (書面開催)	意見に対する対応
1	<ul style="list-style-type: none"> 1頁の(2)の「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部改正(令和2年6月3日公布)」は、改正法になるので、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」としてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 案1頁の(1)、(2)を変更。
2	<ul style="list-style-type: none"> 8頁の(2)の表現を、(1)、(3)に合わせてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 案8頁の(2)の表現を(1)、(3)に合わせて変更。
3	<ul style="list-style-type: none"> 8頁の(2)の4行目以降を次のとおり変更することを検討して欲しい。 「そのうち、八日市場駅～JR成田駅間(平日6.5便/日、休日5便/日)のみ地域間幹線バス系統となっており、令和元年度(10月～9月)の事業収支は経常費用69,178千円に対し、経常収益が56,461千円、行政負担額が23,413千円(※)となっている。 ※内訳:国13,302千円、県6,651千円、市町3,460千円」 <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の事業収支等や、グラフの年間輸送人員の数字は、全て幹線系統のみの実績値であるため。 	<ul style="list-style-type: none"> 案8頁の(2)の表現を番号2のとおり変更したため反映なし。
4	<ul style="list-style-type: none"> 33頁の(2)匠瑳市都市計画マスタープランにある、(改定案)※現在策定中は、次回の資料では削除でよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年3月に策定が見込まれていることから削除。
5	<ul style="list-style-type: none"> 68頁の《交通事業者ヒアリング調査・関係団体アンケート調査》の1つ目の○に、59頁では路線バスの利用者減少と記載があるので、路線バスの利用者数の減少を追記してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 案68頁に追記。
6	<ul style="list-style-type: none"> 71頁の⑦に、タクシー事業についても、バスと同様に大変厳しい状況にあるので記述を追加して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 案71頁の⑦に追記。
7	<ul style="list-style-type: none"> 71頁の⑦に、「新型コロナウイルス感染症の拡大により、全国の路線バスは4～5月に半減…」とありますが、何が前年同月比から半減したのか記載が無く、わかりにくいいため、記載した方が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 案71頁の⑦を変更。
8	<ul style="list-style-type: none"> 76頁の公共交通骨格形成イメージについて、「支線公共交通(市内循環バス)」が青色で記載されているが、八日市場駅から多古町方面に行く路線と、香取市方面に行く路線があり、この2路線は今後広域路線としてそれぞれの市町の中心部まで拡大していくということか。 現在の両路線は、それぞれの市町に少しだけ入り込んでいる路線と認識しているが、現状維持の予定で 	<ul style="list-style-type: none"> 八日市場駅から多古町方面に行く路線と、香取市方面に行く路線は、御指摘のとおり、それぞれの市町に少しだけ入り込む路線として、現状維持の予定である。 広域幹線公共交通や幹線公共交通の表記に合わせて、現行のままをしたい。

	<p>あればイメージ図の書き方だと、誤解される恐れがある。</p>	
9	<ul style="list-style-type: none"> 77 頁の目標⑤に、71 頁の「課題⑦多様な主体の連携による持続可能性の確保」の説明を、記述することを検討して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 案 77 頁の目標⑤の記述を変更。 案 78 頁の事業に【15】進行管理・評価体制の強化を追加。 案 88 頁に【事業 15】進行管理・評価体制の強化を追加。
10	<ul style="list-style-type: none"> 78 頁及び 85 頁の【事業 10】利用しやすい車両（バス・タクシー）の導入促進の実施主体から千葉県を削除を検討して欲しい。 <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県の令和 3 年度当初予算案（骨格予算）にノンステップバス等整備事業費補助金の予算は付いておらず、来年度以降の補助継続が不明瞭なため。 	<ul style="list-style-type: none"> 案 78 頁及び 85 頁の【事業 10】利用しやすい車両（バス・タクシー）の導入促進の実施主体から千葉県を削除。
11	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスについての事業を実施事業に追加してはどうか。 <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活性化再生法の改正により、乗合バス等の運行補助について「地域公共交通計画と連動化する」こととなったので、今後、交通計画に記載がないと、幹線補助を受けることができなくなる可能性があるため。（詳細は国からまだ示されていない。） 幹線路線について、補助を受けていることと今後の活用について触れていないが（もし今後も補助を活用する場合）、記載した方がより望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 案 78 頁及び 84 頁に追加。
12	<ul style="list-style-type: none"> 79 頁の（3）に、バス事業者ヒアリングにおいて、市内循環バスルートの狭隘区間や危険箇所の問題について指摘しているので、安全に係る事項は、重要な位置付けとして捉えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 案 79 頁の（3）③の 4 つ目の○を変更。
13	<ul style="list-style-type: none"> 81 頁の【事業 2】タクシーの利用促進の①事業概要を次のとおり変更することを検討して欲しい。 「タクシーは自宅から目的地まで<u>ドア・ツー・ドア</u>で移動できるため、・・・」 	<ul style="list-style-type: none"> 案 81 頁の【事業 2】の①を変更。
14	<ul style="list-style-type: none"> 82 頁の【事業 3】スクールバスの有効活用の①事業概要を次のとおり変更することを検討して欲しい。 「スクールバスの有効活用にあたっては、路線バスや市内循環バス及びタクシーなどの公共交通機関での対応が困難な場合に、・・・」 	<ul style="list-style-type: none"> スクールバスの有効活用に当たっては、路線バスや市内循環バスでの対応が困難になった場合に、様々な注意点・課題に留意しつつ、教育委員会などと調整を図りながら、活用方法を検討したいと考えているので、現行のままをしたい。
15	<ul style="list-style-type: none"> 82 頁の【事業 4】匠瑳市民病院無料送迎バスの利用促進及び 86 頁の【事業 11】運行情報提供の充実の③実施時期の実施項目に周知 P R（継続実施）とあるが、他の箇所では、周知 P R となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の箇所との整合性を図るため、（継続実施）は削除。

16	<ul style="list-style-type: none"> ・83 頁の【事業 6】高速バスの利便性向上の①事業概要の表記に、9 頁の（3）高速バスの表記を加えてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案 83 頁の【事業 6】の①に追加。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・83 頁の【事業 6】高速バスの利便性向上 匝瑳市役所～多古台バスターミナル間の一般乗降化（半クローズ解除）は、多古本線と競合することになるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多古本線と競合することを鑑み、削除。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・87 頁の【事業 13】意識啓発を促す利用促進活動の展開の①事業概要に、タクシー事業者の記述を加えることを検討して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案 87 頁の【事業 13】の①を変更。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・87 頁の【事業 13】意識啓発を促す利用促進活動の展開の①事業概要に、各地で高齢者のバス車内における転倒事故が多発しているため、バスの乗り方教室や情報発信に関するところ、車内の転倒事故防止の安全確保に関する内容の追加を検討して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案 87 頁の【事業 13】の①を変更。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・89 頁（5）計画目標の達成状況を評価するための評価指標の評価指標の公的資金額は、目標値が 8,057 万円以内ということなのであれば、他の指標の検討をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通への公的資金投入額は、国の地域公共交通計画等の作成と運用の手引きでは、標準指標となっており、原則全ての計画において設定することが望ましいとされている。 ・市の公共交通への公的資金投入額は、財政状況を鑑み、現状値を目安としたいと考えている。 ・以上のことから、現行のままとしたい。
21	<ul style="list-style-type: none"> ・91 頁（2）評価の方法及びスケジュールでは、評価スケジュールについて記載されているが、こちらの評価項目が 89 頁の評価指標のどの部分に該当するのかわかりにくいので、評価スケジュールは 89 頁の評価指標の項目で示した方がより分かりやすいのではないかと。 ・また、評価項目の中にある「計画・目標値の見直し」が令和 9 年度のみとなっているが、90 頁に示している PDCA サイクルの通り、随時、必要に応じて行うのが望ましいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案 91 頁に■評価指標と関連調査評価方法を追加。 ・案 91 頁の■評価スケジュールに追加。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・目標③にも掲げていた安心・安全に移動できる環境の創出にあるように、新型コロナウイルス感染症対策の具体的な周知と、今後の公共交通維持には人材の確保が喫緊の課題のため、目標⑤にもあるように、地域・行政・事業者等地域全体で人材確保対策に取り組んでいただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の具体的な周知や人材確保対策に取り組んでいく。
23	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通が持続可能であるためには、「クロスセクター効果（公共交通が医療・福祉・観光・まちづくりなどに利益などをもたらすという考え）」が発揮 	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスセクター効果が発揮できるよう事業に取り組んでいく。

	されなければならないと考える。	
24	<ul style="list-style-type: none"> 交通弱者に対してのタクシー利用券の配布について、高齢者や障がい者だけではなく、妊婦や小さな子どもがいる家庭などへ対象を広げると人の往来も増えると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 御意見を参考とさせていただき検討していく。
25	<ul style="list-style-type: none"> 市内循環バスは距離も長く時間もかかりすぎるため、コースや運行距離の見直しで利便性を向上させ、市内循環バスのエリアから外れた地域に関してはタクシーを使ったオンデマンドを導入するほうが効果的と思われる。成田市のオンデマンドは対象エリアが広すぎるため、対応がかなり大変になってきているとの話も聞くので、より効果的に利用してもらうために利用エリアの制限等は考慮する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 御意見を参考とさせていただき検討していく。
26	<ul style="list-style-type: none"> 各種調査から分析し検討されており、警察としても交通規制の在り方などについて多角的に考慮すべきものと推察する。引き続き、行政及び各関係機関と相互連携を図りながら、安全で安心できる交通活性化を推進するため、交通規制の協議や事故情報の発信などを積極的に行う考えでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き連携を図っていく。

番号	パブリックコメント期間の委員意見	意見に対する対応
1	<ul style="list-style-type: none"> 8頁の(2)を次のとおり変更することを検討して欲しい。 「路線バスは JR バス関東(株)により、八日市場駅～多古台バスターミナル～JR 成田駅を連絡する多古本線が運行しており、<u>八日市場駅発着の運行便数は平日が10便/日、休日が7便/日となっている。</u> <u>また、地域間幹線バス系統である八日市場駅～JR成田駅(平日6.5便/日、休日5便/日)の令和元年度の年間輸送人員は180,137人/年で、当該幹線バス系統の増便などにより平成29年度から令和元年度にかけて増加している。」</u> 【理由】 2段落目の輸送人員は地域間幹線バス系統(平日6.5便/日、休日5便/日)に対応する数字であり、1段落目の平日が10便/日、休日が7便/日に対応する数字ではないため。 補助対象系統の輸送人員が増加している理由として、「ルート延長」「運行回数の増便」を挙げているが、現状は以下のとおりと認識しており、実態と乖離しているため。 ①多古本線全体の便数はさほど変わらないが、補助対象の系統が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 案8頁の(2)を変更。

	②「ルート延長」をしたのは、成田駅～航空博物館系統であり、1段落目の平日10便/日、休日7便/日の系統には含まれない。	
2	・デマンド型交通について、検討段階であるため具体的に計画に記載出来ないのはやむを得ないと思いますが、病院送迎等他の公共交通との整合性をはかりつつ、丁寧に検討するようお願いいたします。	・御意見を参考とさせていただきます検討していく。
3	・89頁の(5)計画目標の達成状況を評価するための評価指標のうち、基本方針3の目標⑤の「公共交通への公的資金投入額」の目標値について、「8,057万円以内」の「以内」を削除すべき。 【理由】 ・現状値として※12により現況公的資金投入額が例示されているが、今後の匝瑳市地域の公共交通を維持確保するため、例示されている以外の公的資金投入がないとも限らない。 ・目標値に「以内」と地域公共交通計画に明記することで、匝瑳市だけでなく様々な主体による公的資金投入額の検討すら行われなくなることが十分に予見できるため。	・計画当初は、市内循環バスの購入等が想定され、目標値を超えることもありうる。 ・また、御意見のとおり今後の匝瑳市地域の公共交通を維持確保するため、例示されている以外の公的資金投入がないとも限らないが、財政状況を鑑み、市の公共交通への公的資金投入額の目標値は、現状値の範囲内としたいと考えている。 ・以上のことから、現行のままとしたい。
4	・「89頁(5)計画目標の達成状況を評価するための評価指標」の「目標値」欄の最下段に「8,057万円以内」とありますが、公的資金投入額の目標値に「以内」という表現は必要でしょうか。検討をお願いします。	・財政状況を鑑み、市の公共交通への公的資金投入額の目標値は、現状値の範囲内としたいと考えている。 ・以上のことから、現行のままとしたい。

番号	パブリックコメントでの意見	意見に対する対応
1	・市内循環バスは利用者の減少が続いている。運行効率の向上が見込める路線・時間帯に運行するよう抜本的に見直すべき。 ・市内循環バスの補完としてのタクシー料金の助成措置は必ずしも対象となる市民の圧倒的な利用とはなっていない。 ・上記の実情を勘案すると、高齢者や交通弱者のための交通アクセスとしてはデマンドタクシー(乗合タクシー)の導入が適切です。デマンドタクシーについては、近隣の旭市・横芝光町・山武市で、すでに運行されており市民・町民から非常に喜ばれて利用されている。これらから、匝瑳市の今後の公共交通は、効率的な市内循環バスと昼間帯のデマンドタクシーの併用を図るべき。	・案74頁の(2)1)公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式(定時定路線型、バス車両)だけでなく、乗合タクシー(ワンボックス車両など)やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 ・御意見を参考とさせていただきます、公共交通再編に取り組んでまいります。
2	・散歩のとき、平和・共興循環のバスをよく見かけますが、ほとんどが乗客ゼロでもったいないと思う。 ・地方では、小型マイクロバスもあるようです。利用	・案74頁の(2)1)公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式(定時定路

	<p>者減っている中、バスの更新時期に合わせて、バスのダウンサイジングを検討してください。</p>	<p>線型、バス車両)だけでなく、乗合タクシー(ワンボックス車両など)やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。</p> <p>・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。</p>
3	<p>・高齢者に便利な乗合タクシーをお願いします。</p>	<p>・案74頁の(2)1)公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式(定時定路線型、バス車両)だけでなく、乗合タクシー(ワンボックス車両など)やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。</p> <p>・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。</p>
4	<p>・85歳で自転車に乗っていますが、年内に乘れなくなりそうなので、乗り合わせで利用できるタクシーに乗りたくと思っています。</p>	<p>・案74頁の(2)1)公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式(定時定路線型、バス車両)だけでなく、乗合タクシー(ワンボックス車両など)やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。</p> <p>・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。</p>
5	<p>・横芝光町木戸の友人は、乗合タクシーが利用できて助かると話しています。匝瑳市でも乗合タクシーを早く走らせてください。利用します。</p>	<p>・案74頁の(2)1)公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式(定時定路線型、バス車両)だけでなく、乗合タクシー(ワンボックス車両など)やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。</p> <p>・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。</p>
6	<p>・これからの匝瑳市の公共交通として、デマンドタクシーを走らせてください。</p> <p>・ここ数回、旭市の友人宅へ遊びに行き、自宅へ送ってもらいとても良かったです。</p> <p>・匝瑳市でも一日も早く、市民の足として運行してください。途中で乗り合わせた方とも雑談でき楽しかったです。</p>	<p>・案74頁の(2)1)公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式(定時定路線型、バス車両)だけでなく、乗合タクシー(ワンボックス車両など)やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を</p>

	<p>※旭市で実施しているデマンド交通「きらりんタクシー」での利用できる人は、市内在住者で事前に利用者登録をした人となっており、また、運行区域が旭市内となっている。</p>	<p>掲げております。</p> <ul style="list-style-type: none"> 御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
7	<ul style="list-style-type: none"> 私は自動車運転免許証を返納しました。近くには市内循環バスも通りません。乗合タクシーを走らせてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 案 74 頁の（2）1）公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
8	<ul style="list-style-type: none"> デマンドタクシーは、自宅までの送迎が可能でとても便利です。利用時刻も指定可能、料金もタクシーより格安になると思われます。 デマンドタクシーの早期実現をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 案 74 頁の（2）1）公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
9	<ul style="list-style-type: none"> 現在の市内循環バスは、利用者数を見ても（広報さうさ）、年々利用者数が減少しています。実際、すれちがったバスを見ても朝夕は分かりませんが、昼ですと、乗っていて1人か2人、ときにはカラの状態で行っているのが多々見受けられます。確かに、料金は1乗車200円と安いですが、利用者がなく運行しているので、その分、市の負担は大きいと思います。 私の家（住方地区）の周りは坂道なため、近くに停留所はなく、一番近い停留所は谷停留所になりますが、あの停留所は江川地区です。私も今この場所を散歩しておりますが、谷停留所まで歩くのは年寄りにとっては大変な労力です。 今は自動車の運転ができるので、地域公共交通を利用しなくとも支障がありませんが、今後、歳を重ねて運転ができなくなったときに、私のところみたいに停留所が遠い場合に、足腰が弱った状態で坂道を歩いてくことは不可能だと思います。停留所に近い人は利用すると思いますが。近所の年配者に聞いても、市内循環バスを利用していると聞いて 	<ul style="list-style-type: none"> 案 74 頁の（2）1）公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。

	<p>たことはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある場所で、乗合タクシーについての署名活動をしている中で内容を聞き、そして今、市にお願いをしているとのことを聞き、趣旨に賛同しました。匠瑳市内でも、吉田地区と同じ環境（坂の多いところ）の場所は多々あります。 ・タクシーなら坂道に関係なく、どんな場所でも送迎していただけるのではないのでしょうか？市内循環バスを廃止するか、又は朝夕（学生が利用しているのであれば）のみ運行し、その他の時間帯は乗合タクシーを利用できるよう希望します。そのほうが、平等だと思いますので。 	
10	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢（85歳）で、しかも持病で通院しており、自動車の免許も返上と考えているので、どうしてもデマンドタクシーが必要となります。 ・利用がほとんど無いに等しい市内循環バスへの助成で、デマンドタクシーを一日中走らせてもその方が安上がりではないか。しかも便利である。是非、デマンドタクシーを実現させてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案74頁の（2）1）公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・市内循環バスについて、運行しているバスをよく見かけますが、バスに乗っている人が1人・2人ぐらいです。燃料費が掛かるだけに思えます。普通のワゴン車で充分だと思います。 ・何年間も、この状態で運行しているようですが、相当の赤字ではと思います。検討してみてはいかがでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案74頁の（2）1）公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の約25%は、高齢者の運転によるものです。生活に欠かせない多くの高齢者がマイカーに依存せざるを得ない状況にあるからです。 ・免許証を返納しても生活に支障のない地域公共交通の見直しの中で「デマンド交通」の導入を希望します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案74頁の（2）1）公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に、匠瑳市にタクシー（デマンドタクシー）があれば助かる人が、近くにも友人にもいっぱいお 	<ul style="list-style-type: none"> ・案74頁の（2）1）公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率

	<p>ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシーは是非、走らせてください。お願いします。 <p>※自分も足が悪く歩けないので、デマンドタクシーを一日も早く走らせてください。</p>	<p>化において、現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・市内循環バスは、停留所へ行くまで坂道になっており、高齢者にはきつく、便数も少ないため、自宅まで送迎してくれる乗合タクシーは便利ですので走らせてください。 ・市内循環バスは、便数も少ないので遠回りして帰ってくるような時もあり、これから先不安になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案 74 頁の（2）1）公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は、どこに行くのにも足がないと行けません。デマンドタクシーを是非決定してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案 74 頁の（2）1）公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・市内循環バスは、停留所が遠く、目的地に着くまで遠まわりしますので不便です。デマンドタクシーはとてもよいと思います。是非走らせてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案 74 頁の（2）1）公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 市内循環バス（不特定多数対象）の現状 問題点：運賃収入減のため、毎年赤字が財政をひっ迫している。 改正時の課題：意識改革、人の活性、企業感覚 ①自主財源での損益分岐点⇒プラン作成 ②旅客サービスの認識とサービスの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・案 74 頁の（2）1）公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合

	<p>③総体的な経費の低減と市民のメリットの増大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 地域交通利用料助成事業の現状 自動車やバイクの運転免許証を持たない75歳以上の高齢者に1枚 500円×月3枚を交付。実際の利用額の差額を補填。 ・ 3 意見提案 第1案 市内循環バスの全廃 メリット ①委託費がかからない ②管理経費の削減 デメリット ①市民の足の縮小=不便 ②地域交通利用料助成事業などの代替費用の増大 ③バス・タクシー会社の営業の減少 第2案 オンデマンドストップバス ソフト面での改正 ①自主財源でのシミュレーションと短期・中期計画 ②生産性に基づく、路線・ルート・停留所・委託の見直し ③運行中のどこでも乗降可と運転手の補助 第3案 タクシーのシステム化（仮称） 概略 ①市民で運転免許証、車両保有者の登録⇒資産活用 ②利用者の登録⇒すぐ来て、しかも安い ③予約、配車デスク新設（初期投資少なく運営費まかなう） メリット ①CO₂削減（国策）と脱ガソリン車対策 ②小地区での住民間のコミュニケーション <p>課題・スタディ 道路運送法、自家用有償旅客運送などの法規制から、いかに独自のシステムプランを立ち上げるか検討してください。</p>	<p>せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の匝瑳市の公共交通として、デマンドタクシーを走らせていただきたいと思います。 ・私は、88歳の者ですが、熱田整形外科に週に2度ほど通っています。市内循環バスを利用するには時間が合わず、また、運よく市内循環バスで帰れたとしても、停留所から自宅まで徒歩で10分ほどかかりますので、足腰が悪く、これから先が心配です。デマンドタクシーなら自宅まで送迎可能とのことですので是非ともお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案74頁の（2）1）公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 ・御意見を参考とさせていただき、公共交

		通再編に取り組んでまいります。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅まで送迎してくれる乗合タクシーは便利ですので、是非走らせていただきたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案 74 頁の(2) 1) 公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式(定時定路線型、バス車両)だけでなく、乗合タクシー(ワンボックス車両など)やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・私は高齢者で足が不自由です。乗合タクシーがあれば、とても助かりますので走らせていただければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案 74 頁の(2) 1) 公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式(定時定路線型、バス車両)だけでなく、乗合タクシー(ワンボックス車両など)やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
21	<ul style="list-style-type: none"> ・市内循環バスは利用者の減少が続いているようなので、運行効率の向上が見込める路線・時間帯に運行するよう見直してください。 ・高齢者や交通弱者のための交通アクセスとしては、デマンドタクシー(乗合タクシー)の導入はいかがでしょうか。近隣の市町では運行されており、市民町民から喜ばれ利用されているそうです。 ・匝瑳市の今後の公共交通は効率的な市内循環バスと昼間帯のデマンドタクシーの併用を考えていただきたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案 74 頁の(2) 1) 公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式(定時定路線型、バス車両)だけでなく、乗合タクシー(ワンボックス車両など)やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は買い物や医者に行くにも家族は、日中仕事に出ており頼ることはできません。 ・近隣の旭市、横芝光町、山武市では、デマンドタクシーが運行されており、市民から喜ばれているそうです。また、聞くところによると、デマンドタクシーは家の玄関まで送迎してくれるので便利とのことです。 ・従いまして、市内循環バスとデマンドタクシーの併用をお願い申し上げます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案 74 頁の(2) 1) 公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式(定時定路線型、バス車両)だけでなく、乗合タクシー(ワンボックス車両など)やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
23	<ul style="list-style-type: none"> ・【事業 1】市内循環バスの再編 ※地域公共交通利便増進事業 市内循環バス車両を小型化し、合わせてデマンド 	<ul style="list-style-type: none"> ・案 74 頁の(2) 1) 公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式(定時定路

	<p>型交通の運行実施による利便性の向上と経費の節減を図られることを要望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【事業5】JR総武本線の利用促進 千葉県JR線複線化等促進期成同盟を通じて、運行本数の増便等に加え、当該同盟の根本的な目的である複線化について関係機関に対し粘り強く要請していくことを要望します。 ※限りなくゼロに近いことではありますが、佐倉～八街間だけでも実現すれば列車交換のための待ち時間が減り、多少の時間短縮になればという淡い希望を持ち続けたいと思います。 ・【事業6】高速バスの利便性向上 素案の事業概要に加え、以前あった回数券（割引き）を復活し、利用者の負担軽減により乗車率の向上を図ってはいかがかと考えます。 	<p>線型、バス車両)だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。 ・社会・経済情勢の変化に伴い、鉄道事業者においても、その事業活動に大きな影響を受けている中で、御意見を頂きました複線化の実現は大変難しいものと考えられますが、鉄道の利便性の向上等に向けて、地域の状況やニーズ等を踏まえ、関係機関に対し継続して要請してまいります。 ・ICの導入によりチケットレス化を推進していることもあり、回数券の復活は困難と考えております。
24	<ul style="list-style-type: none"> ・私は、匝瑳市に生まれて現在に至っています。高齢化が進む現在、お医者さん又は買い物と、交通の便の悪い旧野栄町は市内循環バスの本数も少なく大変困っています。 ・家族のいない年寄り、免許のない主婦や学生は、八日市場駅まで行くことさえ大変困っています。 ・困っている市民の皆さんのためにも、是非デマンドタクシーを走らせ、喜んで活用ができますように、よろしく願いいたします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案74頁の(2)1)公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式(定時定路線型、バス車両)だけでなく、乗合タクシー(ワンボックス車両など)やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
25	<ul style="list-style-type: none"> ・市内循環バスは劣化が進んでいるように見え、バスを更新するには予算がかかります。 ・市内循環バスの利用者は大変少なく、デマンドタクシーの方が自宅までの送迎や時刻の指定、料金などから考えても、私たち利用者にとって大変良いと思う。デマンドタクシーの導入を是非お願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案74頁の(2)1)公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式(定時定路線型、バス車両)だけでなく、乗合タクシー(ワンボックス車両など)やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
26	<ul style="list-style-type: none"> ・素案の作成大変ご苦労様でした。素案について一言意見を述べさせていただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。

	<ul style="list-style-type: none"> ・素案の内容を見ますと、高齢者の増加、1人世帯の増加、又は人口減少など取り巻く行政環境は厳しい状況にあると考えます。そのような中、公共交通計画を考えると交通弱者は増加をたどっております。 ・私が危惧しているのは、62 頁にありました関係団体アンケート調査のまとめの中、匝瑳市社会福祉協議会の意見に共感を覚えることです。この視点から申し上げますと、交通弱者には現在、地域交通利用料助成事業、福祉タクシー利用助成事業や在宅高齢者外出支援サービス事業など多くの支援を行っております。しかし、運転免許証返納者あるいは1人世帯が増加する中で、買い物難民や通院等の交通弱者は増加の一途をたどっております。 ・主となる現在の市内循環バスは、1 運行に時間がかかり、又、便数が少なく、利用したいときに利用できないのが実態であります。素案の中にもありましたようにドア・ツー・ドアの形でいつでも利用できるのが利用者には一番良いのでしょうか。しかし、それでは財政的に違った面で問題が発生いたします。 ・このようなことから、これからの交通手段のあり方としては、80 頁に記載されております【事業1】市内循環バスの再編※地域公共交通利便増進事業にあります①事業概要で、「現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する。」とあります。乗務員確保等の難題はありますが、まさにこれらに軸足を置いた再編に向かわざるを得ないと考えます。 	
27	<ul style="list-style-type: none"> ・市内循環バスは、運行効率が見込める時間帯・路線を見直してもらいたいです。通勤・通学の電車の時間に合わせた時間帯も走らせてください。 ・公共交通機関として、ドア・ツー・ドアのデマンドタクシーを走らせてください。高齢者に限らず、通学の学生や免許を持たない市民が利用できると大変便利です。ドア・ツー・ドアだと大変助かります。マイクロバスのように大人数ではなく、少人数でも乗り合わせができるデマンドタクシーをお願いします。導入にあたり、予算がかかっても市民は理解すると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・案 74 頁の（2）1）公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 ・御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
28	<ul style="list-style-type: none"> ・私も現在は車を運転している一人です。でも、いつ免許返納になってもおかしくありません。これか 	<ul style="list-style-type: none"> ・案 74 頁の（2）1）公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率

	<p>らは、高齢者の事故が多く発生すると高齢者への運転に対しての目が厳しくなるのはわかります。田舎では年寄りでも車に頼らなければ生活できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な公共交通としてのデマンドタクシーは、これからの社会に絶対必要です。匝瑳市にもデマンドタクシー賛成の人々がたくさんいます。是非、デマンドタクシーを走らせてください。旭市、横芝光町はすでにデマンドタクシーが走っています。なぜ、匝瑳市は見習わないのでしょうか。たくさんの車のない年寄りのためにデマンドタクシーをお願いいたします。 	<p>化において、現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。</p> <ul style="list-style-type: none"> 御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。
29	<ul style="list-style-type: none"> 市内循環バスは利用者が減少していると感じます。そこで、マイクロバスのように大人数ではなく、少人数で乗り合わせができるデマンドタクシーを導入し市内循環バスと併用することで、市内の公共交通をより良いものにするべきだと思います。 デマンドタクシーは運行エリア内の指定された乗車場所から目的地まで、利用者の希望時間帯や乗降場所などの要望に応じて利用でき、料金もタクシーより安くなると思われます。自宅までの送迎が可能なので高齢者の方にはとても便利だと思います。導入するに当たり、予算がかかりますが市民の皆様は理解してくださると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 案 74 頁の（２）１）公共交通再編の基本的な考え方の①市内循環バスの効率化において、現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する旨を掲げております。 御意見を参考とさせていただき、公共交通再編に取り組んでまいります。